

注3

大学番号：私051

[平成22年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

日本保健医療大学

注2

【認可】改善意見等対応状況報告書

学校法人共済学園
平成27年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人共済学園

(2) 大学名

日本保健医療大学

(3) 大学の位置

〒340-0113

埼玉県幸手市大字幸手1961-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サクタ ツトム) 作田 勉 (現職就任 平成21年11月)		
学長	(タイラ センジュン) 平良 専純 (現職就任 平成22年4月)		
学部長	(タイラ センジュン) 平良 専純 (現職就任 平成22年4月)		
学科長等	(オオシタ シズカ) 大下 静香 (現職就任 平成22年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
平成27年度に報告する内容 → (27)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	4年	100人	- 年次 人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期
A 入学定員	100人 (-) [-]	-人	100人 (-) [-]	-人	100人 (-) [-]	-人	100人 (-) [-]	-人
志願者数	317 (-) [-]	- (-) [-]	402 (-) [-]	- (-) [-]	451 (-) [-]	- (-) [-]	471 (-) [-]	- (-) [-]
受験者数	310 (-) [-]	- (-) [-]	389 (-) [-]	- (-) [-]	439 (-) [-]	- (-) [-]	447 (-) [-]	- (-) [-]
合格者数	172 (-) [-]	- (-) [-]	189 (-) [-]	- (-) [-]	177 (-) [-]	- (-) [-]	222 (-) [-]	- (-) [-]
B 入学者数	129 (-) [-]	- (-) [-]	129 (-) [-]	- (-) [-]	129 (-) [-]	- (-) [-]	129 (-) [-]	- (-) [-]
入学定員超過率 B/A	1.29		1.29		1.29		1.29	

区分	平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 (-) [-]	-人	100人 (-) [-]	-人	1.21倍	1.23倍	
志願者数	332 (-) [-]	- (-) [-]	419 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	321 (-) [-]	- (-) [-]	400 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	216 (-) [-]	- (-) [-]	182 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	116 (-) [-]	- (-) [-]	108 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.16		1.08				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には

「-」を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

a 学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 129	[-] (-) -	[-] (-) 129	[-] (-) -	[-] (-) 116	[-] (-) -	[-] (-) 108	[-] (-) -			
2年次	[-] (-) 123	[-] (-) -	[-] (-) 122	[-] (-) -	[-] (-) 123	[-] (-) -	[-] (-) 112	[-] (-) -			
3年次	[-] (-) 121	[-] (-) -	[-] (-) 119	[-] (-) -	[-] (-) 121	[-] (-) -	[-] (-) 123	[-] (-) -			
4年次	/		[-] (-) 117	[-] (-) -	[-] (-) 116	[-] (-) -	[-] (5) 116	[-] (-) -			
計	[-] (-) 373	[-] (-) -	[-] (-) 487	[-] (-) -	[-] (-) 478	[-] (-) -	[-] (5) 459	[-] (-) -			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	129 人	18 人	平成24年度	7 人	人	家庭の事情(3人)、他の教育機関への入学(1人)、進路変更(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、除籍(1人)	14.0 %
			平成25年度	7 人	人	進路変更(4人)、学生個人の心身に関する事情(2名)、除籍(1人)	
			平成26年度	4 人	人	進路変更(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、除籍(1人)	
			平成27年度	0 人	人		
平成25年度 入学者	129 人	6 人	平成25年度	4 人	人	進路変更(4人)	4.7 %
			平成26年度	2 人	人	進路変更(1人)、家庭の事情(1人)	
			平成27年度	0 人	人		
平成26年度 入学者	116 人	4 人	平成26年度	4 人	人	進路変更(3人)、学生個人の心身に関する事情(1人)	3.4 %
			平成27年度	0 人	人		
平成27年度 入学者	108 人	0 人	平成27年度	0 人	人		0.0 %
合計	482 人	28 人					5.8 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

系 科 目	病態治療学Ⅲ (母性、小児、他)	2後	2										
	栄養学	2後 +	1										
	リハビリテーション概論	3前 2後		1		1							
	精神保健	1後	1			1 2							
	社会福祉学	2後	1										
	保健医療福祉行政論 保健福祉行政論	3前 4	2										
	関係法規	4後 4前	1										
	保健統計学	2後 4	2			1 2 +							
	公衆衛生学	1後	1			+							
専 門 基 礎 系 科 目	疫学	3前 2後 4	2 +										
	健康体育	1前		1				1					
	健康とスポーツ (医療と健康)	4前		1		1		+					
看 護 学 専 門 科 目	看護学概論	1前	2			1							
	生涯発達看護論	1後	1			2 +	1						
	看護倫理	4前	1			1							
	看護過程展開方法論	1後	2			+	2	2					
	ヘルスアセスメント	1後	2				2 + +	2 +	+				
	コミュニケーション論	1前	1			2 +	2	2					
	看護実践基礎論	2前	2				2 + +	2 +					
	看護技術演習Ⅰ (生活の援助)	1後	2				2 + +	2 +	2 +				
	看護技術演習Ⅱ (診療の援助技術)	2前	2				2 + +	2 +	2 +				
	成人看護学概論	1後	2			1	1						
	成人看護方法論Ⅰ (急性期援助 論)	2前	2			+	1		1				
	成人看護方法論Ⅱ (慢性期援助 論)	2前	2			1 2 +	+						
看 護 学 専 門 科 目	老年看護学概論	2後	2			1 +							
	老年看護方法論	3前	2			1 +	1	+	1				
	小児看護学概論	2前 +	1			1	1 2						
	小児保健	3前 2後 3	1 2			1	1 2						
	小児看護方法論	3前	2			1	1 2 +						
	母性看護学概論	2前	1			1				+			
	母性保健	2後 3	1			1	1	1 2	+				
専 門 科 目	母性看護方法論	3前	2			1	1	1 2 +	+				
	精神看護学概論	2前	2			1							
	精神看護方法論	3前	2			1	1			2			
	公衆衛生看護学概論 地域看護学概論	1後 2	2			1 +							

看護学 専門科目	公衆衛生看護システム論 地域看護システム論	2後	4	2		4	1						
	在宅看護論	3前	2					2 1 1	1				
	公衆衛生看護活動論 地域看護方法論Ⅰ(健康教育含)	2前	2			4	1						
	公衆衛生看護技術論 地域看護方法論Ⅱ (地域看護活動論)	3前	2	2				1					
	家族看護論	2後	2 1			1 1							
	産業保健論	4前 3前	2 1			1		1					
	学校保健論	4前 3前 4	2 1										
	基礎看護学実習Ⅰ (対象の理解と看護活動の場を知る)	1後	1					2 1 1	2 1	2 1	8 5		
看護学 専門科目	基礎看護学実習Ⅱ (対象に応じた援助技術の習得)	2前	2					2 1 1	2 1	2 1	8 12		
	成人看護学実習	3後	6			1 2 1	1 2 1		1 1 2	7 4			
	老年看護学実習	3後	4 3			1	1	1	1	2			
	小児看護学実習	3後	2			1	1 2 1			1			
	母性看護学実習	3後	2			2	1 1	1	1				
	精神看護学実習	3後	2			1	1		2 1	1			
	公衆衛生看護学実習 地域看護学実習	4前	4	5		1 1	1	1 2	1 2 1	1 1			
	在宅看護論実習	3後	2 1					2 1 2	1 1	2			
	看護教育学	4前 4後	2			1							
	看護管理学	4後	2			1							
看護学 専門科目	医療安全管理学 医療管理学	2後	1										
	看護実践統合演習	4前	1			8 9 8 9	8 5 4	6 2 3	5 1 1 2				
	課題別実習	4前	2			7 8 7	8 6 5	6 5 2 5 4	5 1 2 1 2				
	看護研究	4通	2			8 9 8 9	8 4 5 4	6 2 3 2					
	看護行政論	4前	1										
	緩和ケア論	4前	1			1				1			
	災害看護(救命救急含)	4後	2										
外国語文献講読	4後		1		1								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 71	科目 17	科目 0	科目 88	科目 75 [4]	科目 17 [0]	科目 0 [0]	科目 92 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	外国語文献講読	1	4後	専門	選択	履修希望者が少なかったため、平成26年度後期末開講
2	囲碁の文化と思考力開発	1	1前	一般	選択	履修希望者が少なかったため、平成27年度前期未開講

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修希望者が少なかったため、「外国語文献講読」「囲碁の文化と思考力開発」については未開講とする旨の全体説明および掲示を行った。
 授業科目の内容や配当時期について見直す予定である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{2.17\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積：20,309㎡ 借用期間：平成20年4 月1日から30年間 学生の利便性を考慮し 路線バスを誘致するた めに、校地内にバス転 回場（378㎡）を設 け、その面積を運動場 用地から差し引き、そ の他に加えたため。届 出済。（22）		
	校舎敷地	9,415㎡	0㎡	0㎡	9,415㎡			
	運動場用地	10,236㎡	0㎡	0㎡	10,236㎡			
	小 計	19,651㎡	0㎡	0㎡	19,651㎡			
	そ の 他	20,028㎡			20,028㎡			
	合 計	658㎡	0㎡	0㎡	658㎡			
		280㎡		280㎡				
	合 計	20,309㎡	0㎡	0㎡	20,309㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	5,224㎡ (5,224㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	5,224㎡ (5,224㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 中講義室を大講義室に 改装したため（24）		
	8室 8室	4室	1室	1室 (補助職員 1人)	情報処理学習施設と 兼用 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請学部全体 研究室2室と中講義室を大 講義室に変更したため (24)		
	保健医療学部 看護学科		30 32 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・雑誌・視聴覚資 料の充実のため（24） 図書・雑誌・視聴覚資 料の充実のため（25） 図書・雑誌・視聴覚資 料の充実のため（26） 図書・雑誌・視聴覚資 料の充実のため（27）
	保健医療学部	14,000 [1,400] (20,188 [1,641]) -(19,086 [1,595]) -(17,127 [1,551]) -(15,931 [1,545]) -(12,002 [1,295])	27 [10] (34 [10]) (35 [10]) (29 [10]) (27 [10])	170 [70]	106 (269) -(241) (190) -(132)	1,263	61	
	計	14,000 [1,400] (20,188 [1,641]) -(19,086 [1,595]) -(17,127 [1,551]) -(15,931 [1,545]) -(12,002 [1,295])	27 [10] (34 [10]) (35 [10]) (29 [10]) (27 [10])	170 [70]	106 (269) -(241) (190) -(132)	1,263 (1,277)	61 (23)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	372.9㎡	81席		23,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,044㎡	テニスコート2面		25mプール				

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費前々年度0千円、設備購入費前々年度4,535千円、図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費51.4万円/年(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	615千円	563千円	図書購入費	4,014千円	5,764千円	2,500千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	116,301千円	13,914千円	1,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,900千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	—千円	—千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		1. 入学検定料収入 2. 自治体補助金収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況 該当なし

大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
大学の名称										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>正確な情報の公開及び提供については、依然として大学案内に誤解を生じる可能性が高い記述が見られるなど、改善が図られているとは言いがたい。昨年度の留意事項を踏まえた再発防止策が組織として機能していないことが原因の一つとも考えられることから、組織的な再発防止策について、確実な実行を担保するところまで含めて検討・実施すること。</p>	<p style="text-align: center;">是正意見</p> <p>大学案内における誤解を生じる可能性が高い記述については削除することとし、改善を図った。 再発防止策として、情報の公開及び提供については、広報委員会でその内容を十分検討することとし、その後、更に管理運営委員会で検討し、正確な情報公開及び提供に努めることとする。</p>	
<p>設置計画履行状況調査 (27年2月)</p>	<p>超過幅は改善されているものの依然として定員数を上回る学生を入学させており、教育環境の悪化が懸念される。入学者選抜の方法や適切な定員管理について再度見直し、併せて在籍する学生への対策も含め、教育環境の充実に努めること。</p>	<p style="text-align: center;">改善意見</p> <p>入学定員100名を目標に入学者の受け入れを行い、平成27年度の入試については108名の入学者を受け入れた。入学者選抜の方法については、これまでの方法を振り返り、その反省をもとに見直し、更なる適切な定員管理に努めて行く。 各教室においては定員を上回る数の机と椅子を整備しているが、その配置方法に関する見直しを行い、教育環境の更なる充実に努めて行く。 教育環境に関し、在籍する学生への対策として、小教室の大改修工事による新たな設置（5室）、無線LANのアクセスポイントの設置、試験前の校内開館時間の延長を行った。また、各教室においては定員を上回る数の机と椅子を整備しているが、その配置方法に関する見直しを行った。ハード、ソフト両面において、教育環境の更なる充実に努めて行く。</p>	

設置計画履行状況調査 時 (27年2月)	<p>教員の離職率が比較的高く、定員超過状態への対応や後任へのサポートなどで在籍する教員の教育・研究に支障が生じていることが懸念される。教員が継続的に就任できる環境を整備するとともに、教育体制、研究環境の充実を図ること。</p>	改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ・9名の専任教員の採用 ・以前より設定している週1日の研究日や研究費の支給の継続 ・サイエンス・カフェの開催によるお互いの研究に関する情報交換の場の設定の継続 ・研究促進委員会による科研費申請のサポートの実施の継続を行うことにより、教育体制、研究環境の充実を図り、在籍する教員の教育・研究に支障がないようにする。 	
	<p>保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>平成26年度末で60歳を超える教員が5名退職した。開学当初より大学を支えてくれた、開学時の特例による定年を超えた教員も、完成年度を迎えて以降、徐々に減少し、教員の平均年齢の低下を図っている。今後は更に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合を引き下げるとともに、定年規程の適切な運用に努め、教員編成の将来構想としては、いずれは卒業生が本学の教員に就任することにより、本学出身者による教員数を増やして行きたい、と考えている。</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 学則 ② 学則（教育課程） ③ 施設・設備 a 大講義室 3室 b 学習室 5室	① 「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」（平成26年法律第88号）及び「学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令」（平成26年文部科学省令第25号）が平成27年4月1日から施行されたことに伴い、学則を改正した。 ② 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令（平成23年文部科学省・厚生労働省令第1号）が平成23年4月1日から施行されたことに伴い、教育課程を平成24年4月1日から変更した。 ③ 学生の修学環境を改善するため、 a 大講義室（126㎡）を設け、大講義室を4室とした。 b 自由に使える学習室を5室用意した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ 日本保健医療大学の建学の精神に基づき、本学の教育理念、及び教育目標に沿って行う授業の改善に資すると共に、教員個々の教育研究能力を高めることを目的とし、FD（Faculty Development）委員会を設置している。 ・ FD委員会規程については、添付資料の通りである。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 開催日：4/30, 6/18, 7/11, 9/10 ・ 参加状況：実習等により参加できない委員がいる場合もあるが、すべての委員会で出席者は過半数を超えている。 c 委員会の審議事項等 ・ 教育内容の充実及び教育方法の改善に関すること ・ その他教育内容の充実に関すること ② 実施状況 a 実施内容 ・ 他大学の事例の検討 ・ 授業評価アンケート ・ FDに関する研修会 ・ 教員のための研修会 b 実施方法 ・ 講師（外部講師）による医療統計解析の講演を実施した。 ・ 講師（学長、理事長、学科長）による講演とその後にディスカッションを行うという形式で、FDに関する研修会を実施した。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・外部講師による研修会を平成26年8月5日、6日開催（教職員21名が参加）
 - ・学内講師による研修会を平成27年4月1日開催（教職員44名が参加）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・授業評価アンケート結果データの分析
 - ・教員の資質の維持向上の方策の検討（授業評価アンケート結果に対するリアクションペーパーの実施）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・前期、後期の授業終わりに、授業評価アンケートを実施
- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・授業評価アンケート結果をまとめ、教員にフィードバックしている

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙の通り）

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・監査室を中心に定期的組織的に自己点検・評価を行っていき、平成27年内に公表する予定である。
- b 公表方法
 - ・大学のホームページ上に掲載の予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・完成年度後のなるべく早期に第三者機関の評価を受けることとし、今後、監査室、教授会、及び管理運営委員会において検討していく。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年 7月 31日)

(別紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨・目的

保健医療福祉の分野の充実・拡充とチーム医療の必要性から、それぞれの専門職の養成と資質の向上が緊急の課題となっており、このような社会の要請に鑑み、本学では、保健医療分野の充実を図り、気品の泉源、智徳の模範を目指し「人間性(儒教の三綱五常の精神を基本とする)の高揚(人間性の復活から、人間性の高揚へ)と、共済主義、又は共済主義精神(共存共栄の精神)」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の専門職を育成し、人類の福祉と平和のために活力のあるより高度な社会の実現に貢献することを目的としている。

2. 人材の育成

【人間性】深い教養と豊かな人間性を備えた人材の育成

医療に携わる者は、まず最初に幅広く深い教養に根ざした豊かな人間性が大切である。人間の健康は身体的側面のみならず、精神的、文化的、社会的諸側面などすべてを併せて完成するものであり、したがって医療は全人的医療でなくてはならない。そのため、教養教育を重視し、儒学的道徳心を培い、滲み出る教養と溢れる人間味を備えた人材を育成する。

【専門性】高い専門性と総合的な視野を持ち、独創性・指導性の発揮できる人材の育成

医療技術は日進月歩であり、それぞれの分野で常に極めて高度な専門的知識・技術を必要としている。そのため、個々の専門性のみならず総合的に判断できる能力を養い、特に学際的な分野において独創的な技術を模索できる人材を育成するとともに、それぞれの分野においてリーダーシップと協調性を発揮できる人材を育成する。

【国際性】グローバルスタンダードに対応できる国際性を備えた人材の育成

医療技術の分野も当然、国際的スタンダードは高度に発展している。このような中において国際的に通用する専門性はもちろん、英語教育を重視し、専門的知識・技術を世界に発信できる能力を有する人材を育成する。

【社会性】地域社会のみならず国際社会に貢献できる人材の育成

高齢化社会における全人的医療は、病院等におけるケアだけでなく、在宅等のケアも重要である。したがって地域社会の役割もますます重要となってきている。その地域社会において指導的役割を担うことのできる人材を育成する。

また、地球上にはまだまだこのような医療の面で途上の国々や地域がたくさん存在する。このような社会で指導的役割を担い、国際貢献できる人材を育成する。

3. 達成状況に関する総括評価・所見

平成27年度は昨年に引き続き、6回生となる入学生を受け入れた。看護系大学が全国で230校を超え、なお新設が相次いでいる中、看護大学を取り巻く経営環境はますます厳しさを増しているが、昨年減った志願者数からの増加を図ることができ、保健医療学部看護学科の定員100名に対し、入学者としては定員の学生数を確保することができた。

専任教員に対しては、FDに関する研修会として、本学の設立の趣旨・目的、運営の方法等についての講演や討議を行い、共通認識を深めた。また、外部講師によるFDに関する講習会も実施した。その他に、新しく着任する専任教員を含め、全教員に対し、本学の基本方針を説明し、質疑等を行った。

学生に対しては、授業開始前にガイダンス期間を設け、日本保健医療大学の理念、日本保健医療大学が求める学生像、教育目標、学部学科の特色、授業科目の履修、学生生活等について詳細な説明を行った。また、担任制度、学習指導教員、Student Life委員などによる指導、支援も逐次行い、充実した学生生活を送れるよう取り計らっている。

今後は、計画に基づいて教育課程の実施を着実にを行うとともに、一層の教育効果の向上を目指して教育方法等の工夫に努めたい。